

システムトレードとは



システムトレードとは？

- システムトレードは和製英語です。
- システムトレードは金融商品の取引の手法のひとつです。
- システムトレードの歴史は古く一般的には1970年代からと考えられます。
- システマティックに価格の動きを分析し、投資、金融取引に生かす方法です。
- 感情による取引を排除する方法として注目されています。



システムトレードが対象となる市場

- 株式市場
- 債券市場
- 通貨市場
- コモディティ市場
- デリバティブ市場
 - 先物、先渡し市場
 - オプション等



システムトレードが対象となる市場

○ 株式

- 株式会社が会社設立時に発行する資金調達方法。
- 会社の業績、将来性が株価の指標となる。
- 価格はランダムに動くと考えられている。
- また、経済、業績要因を用いて価格がモデル化されることもある。
- 株式を発行した会社の倒産リスクがある。



システムトレードが対象となる市場

○ 債券

- 企業が資金調達のために発行する借用証書。
- 満期と利払いがあることが特徴。
- 価格の動きは金利の関数に成る。
- 長期の債券は価格の変動が、短期のものよりも大きい。
- 金利の変動リスク以外に、発行体の倒産のリスクがある。



システムトレードが対象となる市場

○ 通貨

- 国家などにより発行される支払、決済手段のための媒体。
- さまざまな目的、経済主体により保持、利用されているために価値の把握が最も難しいとされる。
- 価格の動きはランダムであるが、その分布は正規分布よりもさらに裾野が厚く、価格急落のリスクがある。



システムトレードに用いられる手法

- テクニカル分析：
 - チャート等を用いた価格分析
- クオন্ツ運用：
 - 統計学を用いた分析
- ファンダメンタル分析：
 - 経済・財務データをもした分析
- 機械学習・AI
 - 最近はやりの機械学習・ディープラーニング等を用いた分析



2つの手法

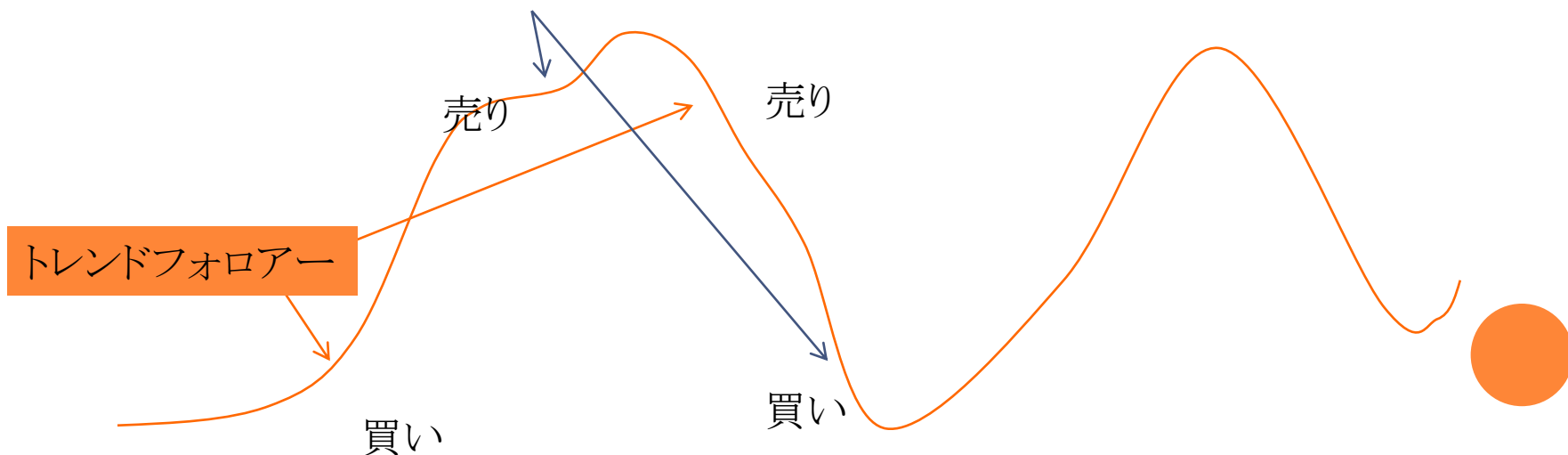
○トレンドフォロアー

- 上昇トレンドの確認をした後に買い、下落トレンドを確認した後に売る。

○コントラリアン

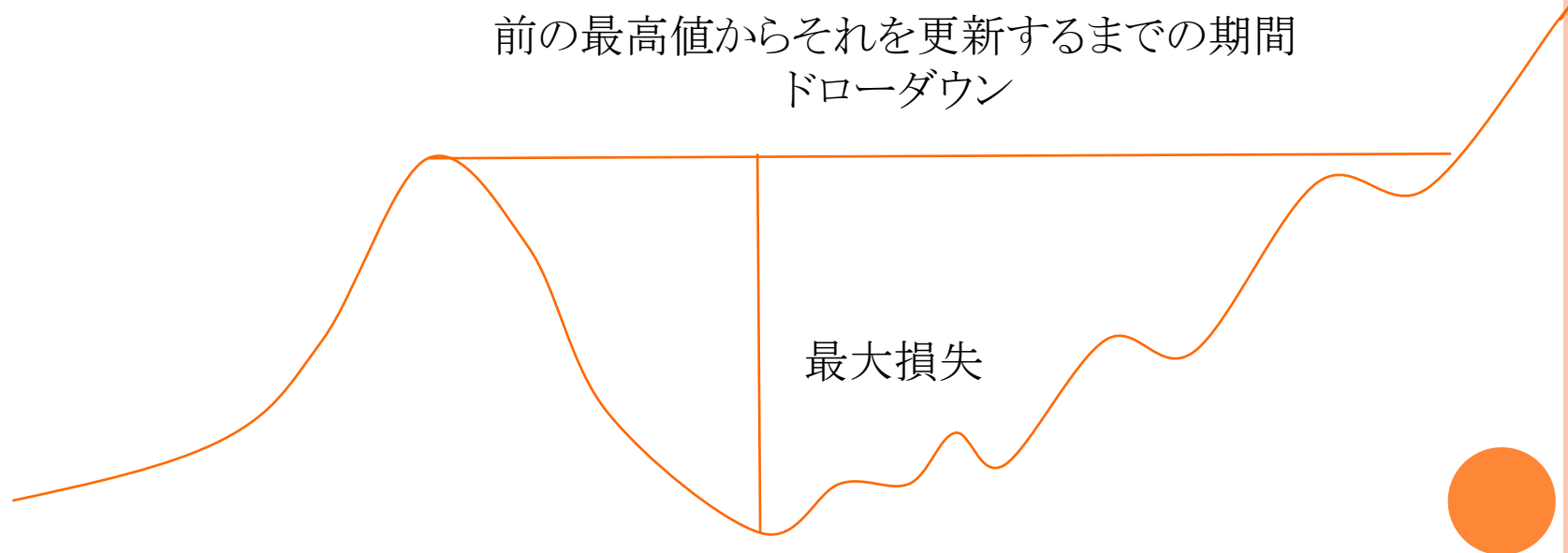
- 上昇トレンドが終焉する前に売り、下落トレンドが終焉する前に買う。

逆張り・コントラリアン



ドローダウンとは？

- 運用の成績が下落し始めてから、その損を取り戻すまでに要する最長の期間



システムトレードにより感情に左右されなくなるのか？

- 決してそうとは言いきれない。
- システムトレードを設計するのは人である。
- トレード戦略のパラメータを決めるのは人である。
- トレードの執行を決めるのは人である。



システムトレードによる自動売買は忙しいあなたの助けになるのか？

- 決してそうとは言い切れない。
- 自動売買を管理する必要がある。
- 予期せぬ出来事は必ずある。



システムトレードはリスク制御に役に立つか？

- 決してそうとは言い切れない。
- 常に市場は変わり、新しいリスクの指標が必要。
- システムトレードに合理性がなければ、リスクを制御していることにはならない。
- ただし、長期の投資であれば、分析手法に大きな変化はない。



長期的な安定した収益をもとめて



分散投資の導入

なるべく小さな金額で、なるべく多くの関連の低い銘柄へ投資する。

そうすれば多くを学べる。

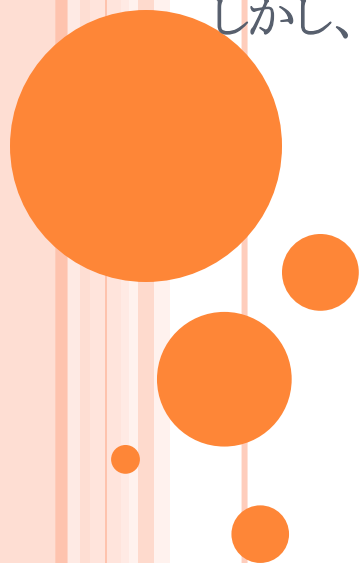
成功体験も失敗体験もできる。

まずは成功体験を積んでください。

リスクは極力小さく

リスクを小さく抑えて置けば、失敗を何度も繰り返せる。

しかし、ストップの多用は非合理的。



客観性のある分析を！

分析が感情に左右されていたのでは、分析しないのと同じです。

統計学から学ぼう。

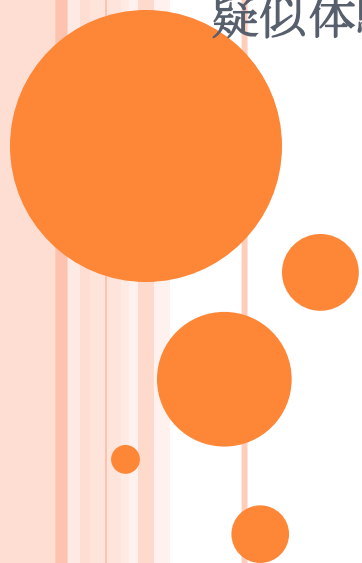
最も大事なの一貫性です。



バックテストの利用

過去の取引価格を用いて、取引戦略の有効性を確かめよう。

疑似体験から学ぼう



バックテストの信頼性

どんなに長い期間のデータを用いても、十分ではない。

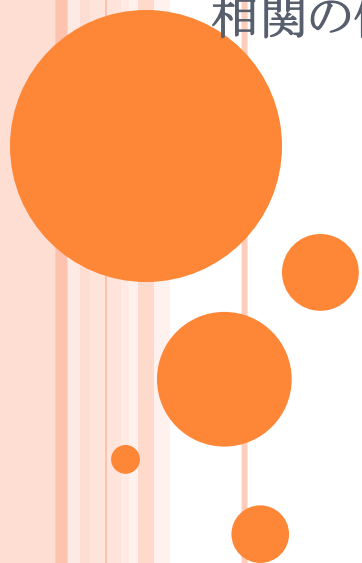
乱数を利用して、疑似的な価格データを生成し、取引戦略の信頼性をチェックしよう。

乱数をあなどってはいけない。

分散投資は国内だけでは不十分

世界中の金融市場を利用しよう。

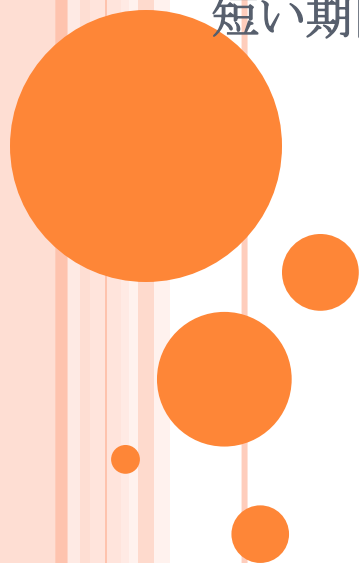
相関の低い金融市場は多くはない。



長期戦略の導入

長い期間の投資戦略の方が、成功体験を得やすい？

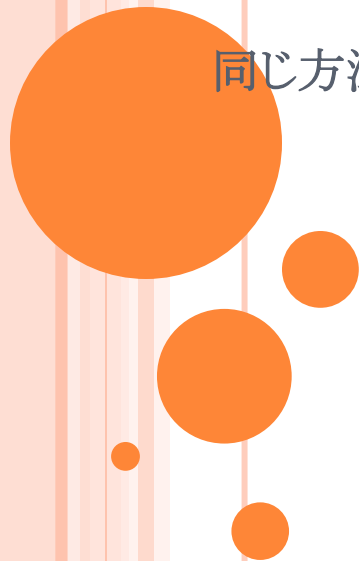
短い期間の取引は難しい。



一貫性

実は、客観的な分析のよりどころは統計学である必要はありません。

同じ方法を一貫して長期に継続することこそが大事なのです。



参考文献

- タートル流投資の魔術 - 伝説のトレーダー集団
- ザ・タートル - 投資家たちの士官学校
- マーケットの魔術師
- 新マーケットの魔術師
- デイトレード - マーケットで勝ち続けるための発想術

